

オンライン学習システム

～ ご利用の手引き ～

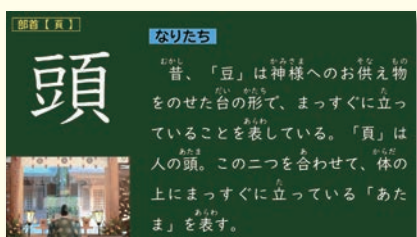
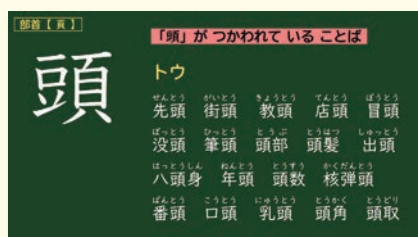
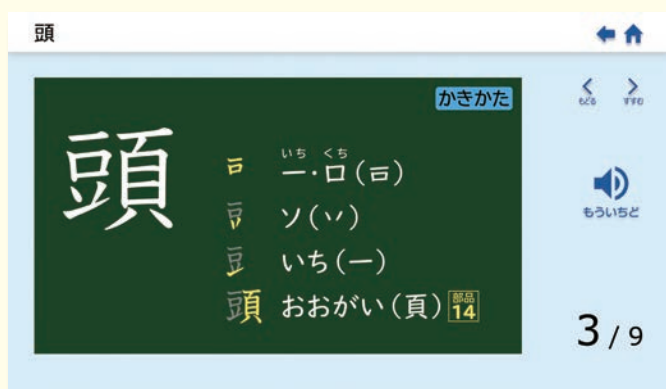
せんとうのトウ、ずつうのズ、あたま!

いちくち いち いち め
一口ソー、一ノ目ハ

まめ (豆) ・ おおがい (頁)



正しい発音のナレーション付き! 音声ガイドと一緒に唱えて覚えられる



豊富な語例やなりたち、解説など
漢字学習に必要なコンテンツが
そろっています!

オンライン学習システムの 利用について

・ 音声再生されます

再生された音声と一緒に声を出して、漢字の読み書きを覚える学習システムです。教室やご家庭など、音を出したり元気よく発声しても大丈夫な環境でご利用ください。

※ 音声のボリュームは各端末で調整してください。



・ PC やタブレットでの利用を前提に設計されています

・ インターネットに接続できる環境でご利用ください



本オンライン学習システムはPCまたはタブレット端末での利用を推奨しています。スマートフォンからでも基本的な機能はすべて利用可能ですが、機種によってはレイアウトが崩れたり、読みやすさが損なわれる可能性があります。ただし、ご家庭にPCまたはタブレット端末がない場合でも漢字一字の読み

書きを「おぼえる」学習やテスト前の「かくにん」など、発声を伴う家庭での繰り返し学習などの場面では積極的に利用してみてください。

※ 家庭の通信端末で「ことばチャレンジ」などの学習コンテンツの閲覧が難しい場合は、学校の共有端末を利用させてもらうなどの対応を学校にご相談ください。

お困りの時は…

・ ログイン画面が表示されない場合

インターネットの接続環境をご確認ください。特定のwebページ以外にアクセスできないように設定されている場合は、別の端末からアクセスしてご利用ください。

・ ユーザーIDとパスワードが誤りだと表示される

正しいIDとパスワードを入力しているか、また半角英数字で入力しているかご確認ください。

・ 学習中に問題が生じた場合

webブラウザを閉じて再度ログインしてください。ログインし直しても解決しない場合は、パソコンやタブレットを再起動させてください。再起動しても解決しない場合は、ご利用の端末を変えてお試しください。以上をお試しいただいても問題が解決しない場合は、学校名、お名前、ID、お使いの端末、教材名の5点を明記のうえ、下記までご連絡ください。

空間概念研究所 電話番号：03-6233-8072

メールアドレス：info@space-c.com

利用方法

① インターネットに接続し、下記 URL にアクセスします

<https://www.digkanji.com>

ブラウザは Google Chrome または Safari をご利用ください



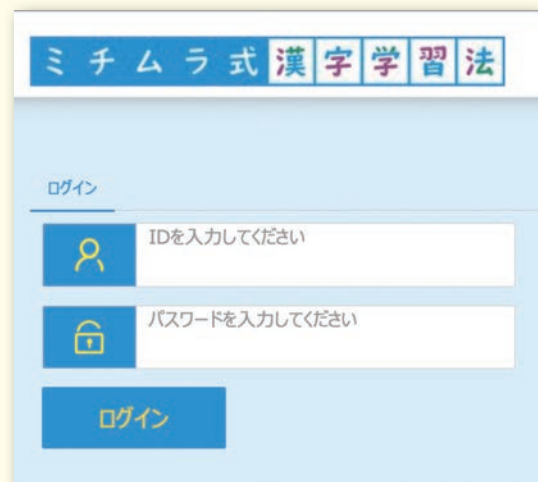
② ログインします

ログイン画面が表示されたら、発行された ID とパスワードを入力してください。

- ・ID は複数端末で利用可能です（同じ ID の同時接続は不可）
学校、ご家庭、それぞれの端末で利用しても学習状況は引き継がれます。
- ・20 分間の静止状態が続くと、自動的にログアウトされます
ログアウトになった場合は改めてログインし直してください。

※ ID とパスワードは半角英数字で入力してください。

※ ID とパスワードは大切に保管してください。



HOME 画面

教科書順 P5

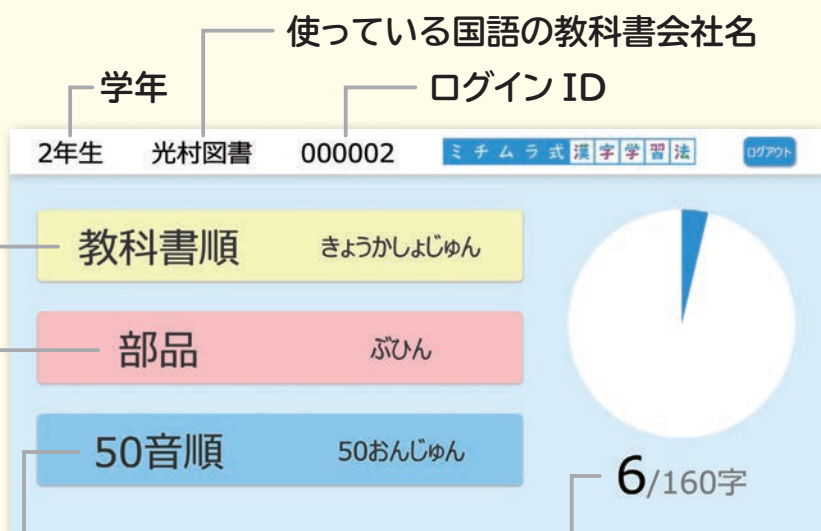
授業や教科書に合わせて学習を進める場合は教科書順を選択してください。

部品 P11

各学年で新しく登場する部品を参照できます。

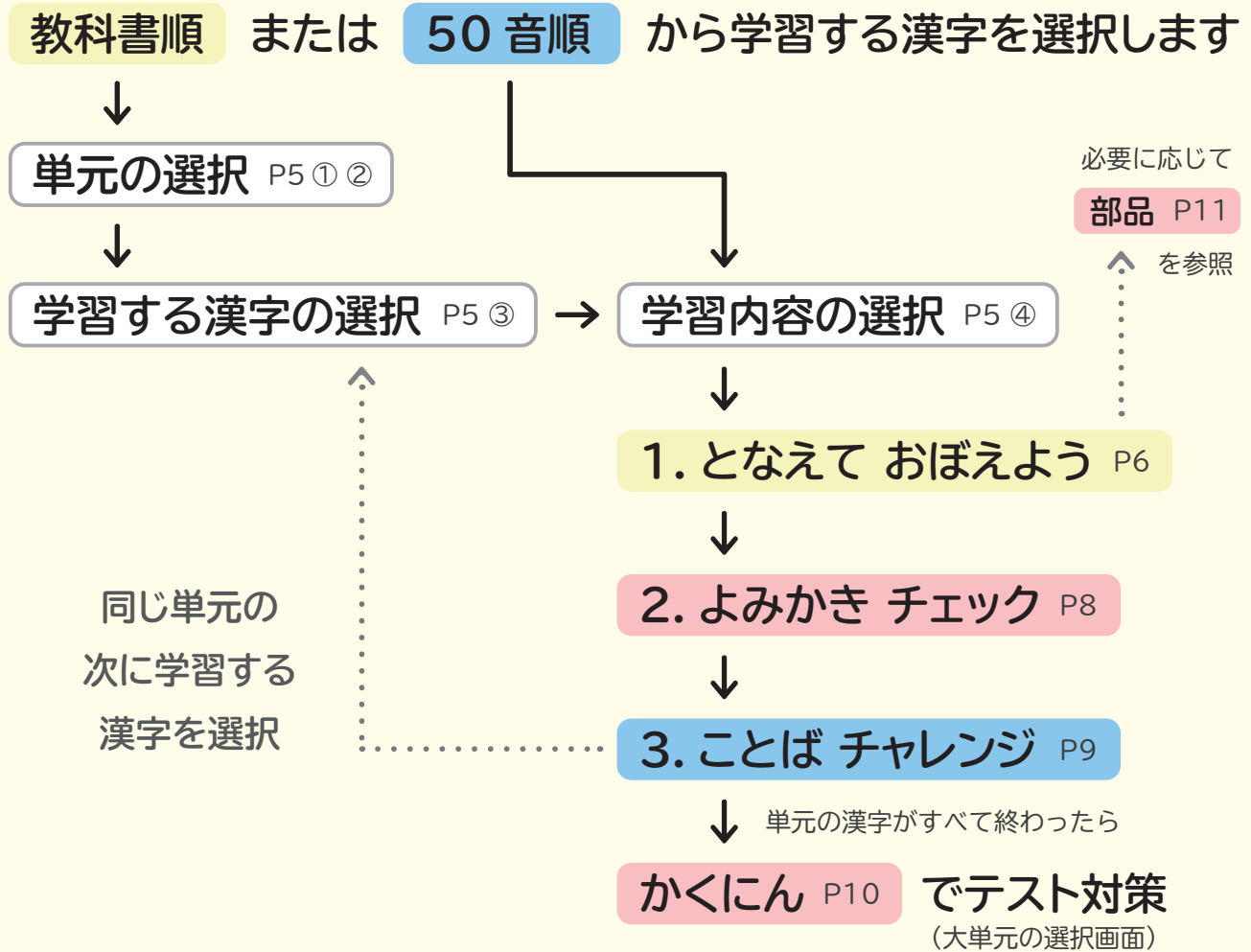
50 音順 P10

各学年で習う漢字が 50 音順（音読み）に並んでいます。復習や特定の漢字を選んで学習したい時に参照してください。



学習済みの字数 / 学年配当漢字数
学習の進捗具合を示しています。各漢字の3つのステップがすべて終了するごとに数字がカウントされます。

学習の流れ



【画面の基本操作】

上の階層へ戻ります。

HOME 画面に戻ります。

「すすむ」「もどる」のボタンで前後のスライドへ移動できます。

音声をもう一度再生したい場合「もういちど」ボタンを押してください。
※ 音声ファイルがないスライドには表示されません。

表示されているスライドの順番 / スライドの合計数
何番目のスライドを見ているか確認できます。

書

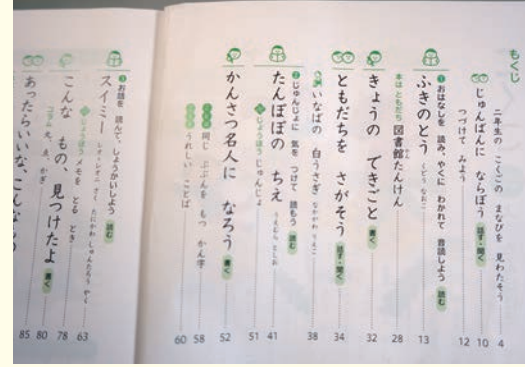
よみかた

どく 読しよ の しょ、
か_く

もういちど

2 / 8

教科書順から 学ぶ漢字を選択する

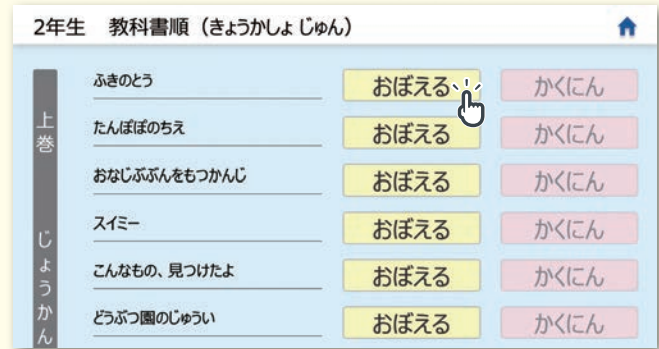


① 単元を選択します

HOME 画面から教科書順メニューに進むと、教科書の単元が並んでいます。学習したい単元名の横にある「おぼえる」ボタンを押して、先に進んでください。

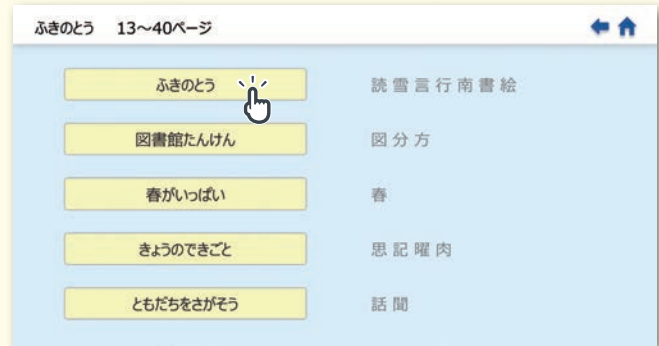
※ ページ数の少ない単元はまとめている場合があります。目的の単元名が見つからないときは前後の単元を選んで、②の画面から探してみてください。

※ 「かくにん」ボタンは、各単元の学習がすべて終了したら押せるようになります。



② さらに単元を選択します

単元名の横に各単元の新出漢字が表示されています。学習したい単元名のボタンを押して、先に進んでください。



③ 学習する漢字を選択します

各単元で学ぶ漢字が並んでいます。学習する漢字のボタンを押してください。

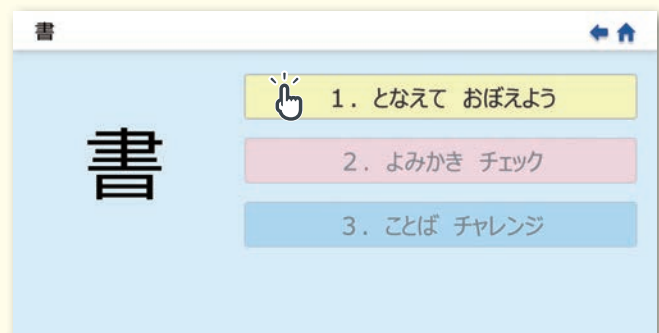
漢字左の数字は教科書新出順の通し番号

各漢字のステップを学習するごとに色がつき、すべて学び終えると花丸マークが表示されます。

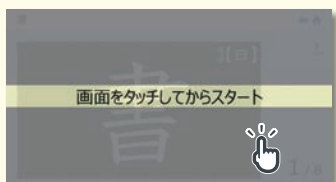


④ 学習内容を選択します

1 → 2 → 3の順番に学習を進めます。「2」と「3」の学習コンテンツは、それぞれ前のステップが終了した後で押せるようになります。まずは「1.となえておぼえよう」から順番に始めてください。



1. となえて おぼえよう



「画面をタッチしてからスタート」が表示されたら、画面のどこかを押すと学習がスタートします。PC では表示されないことがありますが、その場合は自動的にスタートします。



注意!

最後のスライドでは「おわり」ボタンを押して終了してください。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦

【前半 ①～③】

よみかたと かきかたを確認しよう

最初にこれから覚える漢字の形を確認します。部品に分解できない基本漢字は最初のスライドで示されます。書き方をしっかり確認して、書けるように練習しましょう。

前半はゆっくりと音声がかかります。音声と合わせて「よみかた」と「かきかた」をしっかり確認しましょう。

部品の組み合わせを
しっかり確認しよう!



【後半 ④～⑥】

リズムよく 早口で 唱えよう

後半は「リズムよく はやくちで」音声再生されます。一緒に「よみかた」と「かきかた」を唱えて覚えてください。見ないで言えるようになるまで、何度も唱えて覚えましょう。

大きな声で元気よく
唱えるのがポイントだよ!



⑦ 1回だけ書いてみよう

スライドを見ずに言えるようになったら、一度だけ書いてみましょう。部品の組み合わせが頭に浮かぶようになっていたら書けるはずですが、何度も同じ字を繰り返し練習する必要はありません。間違えたときも、間違えた部分だけ確認すればOKです。

学習のポイント

うんかいのうん、くも
あめかんむり、ニ、ム



言葉とセットで読みを覚えよう

「よみかた」の部分では、音読みの語例で難しいものがあるかもしれませんが、必ず覚えてほしい重要な言葉です。読み方と一緒にまるごとセットで覚えるようにしましょう。言葉の意味がわからない場合は、どういう言葉か調べたり大人が教えるようにしてください。

漢字の読みについてさらに詳しく → 13 ページ



1～3年生の漢字には、言葉の意味を理解しやすくするための写真をつけています。4～6年生は2021年に追加予定。

部品の形と名前を覚えよう

「かきかた」の部分では、学年で新しく登場する部品に番号をつけています。これらの部品が出てきたら HOME 画面の「部品 (ぶひん)」ページを参照して、部品の形 (書き方) と名前を覚えるようにしましょう。

けいがしら (ヨ) 部品 19

部品 19 ヨ

→ 詳しくは
11 ページ

部品



部品の組み合わせを意識しよう

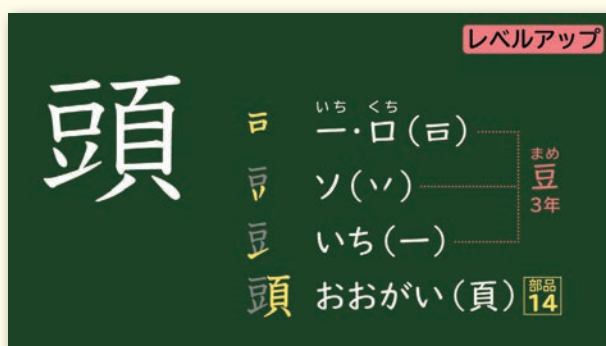
「かきかた」では、部品の組み合わせを意識しましょう。なんとなく唱えるのではなく、部品の組み合わせで漢字の形が頭に浮かぶことが大切です (頭に浮かんでいれば書ける)。画数が少ないひとかたまりの部品を

組み合わせていけば、漢字が苦手な子どもでも覚えやすくなります。1画ずつ覚えるのではなく、部品のかたまりをとらえて覚えられるようになりましょう。さらに学年が上がるにつれて新しく覚える量は減るので、漢字学習がラクになります。→ P15 の一覧表を参照

かんたんに と レベルアップ

部品の組み合わせ方を省略した唱え方では、部品の位置や細かい部分を認識できていれば、「かんたんに」の唱え方で覚えて OK です。

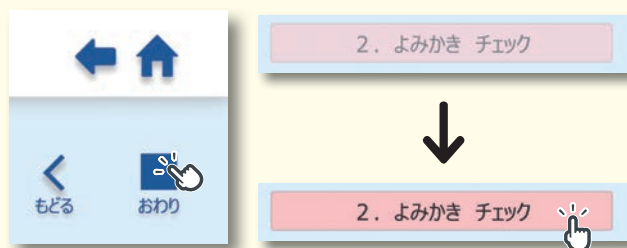
さらに、上の学年で習う単漢字が部品として登場するときは「レベルアップ」した覚え方のスライドもあります。書けるようになったら上の学年を待たずに覚えてしまいましょう。



2. よみかき チェック

「1.となえておぼえよう」の最後のスライドで「おわり」ボタンを押すと、「よみかきチェック」のボタンを押せるようになります。

注意! 最後のスライドでは「おわる」ボタンを押して終了するようにしてください。



① よみかたを
いえるかな? 書

② こたえ
どく 読しよのしよ、
かく

③ かきかたを どく 読しよのしよ、
いえるかな? かく

④ こたえ
けいがしら(冚) 漢字 19
に(二)
たてぼうとめて
書 ひらたいにち(日)

1~2年
⑤ 書をつかったことば
としょかん しよしゃ
よみかき らくがき
チャレンジ! ほかのことばをさがそう!

①~④ 覚えられたかチェックしよう

音声の誘導に合わせて、答えのスライドを表示する前に漢字の「よみかた」と「かきかた」を覚えられたか自分でチェックします。覚えられていなかったら「1.となえておぼえよう」に戻って確認しましょう。

⑤ ことばをさがそう (1~2年生)

最後のスライド(⑤)に覚えた漢字が使われている言葉を示しています。書けるようになった漢字がどんな言葉に使われているか、身の回りの言葉や聞いたことがある言葉の中から探してみましょう。

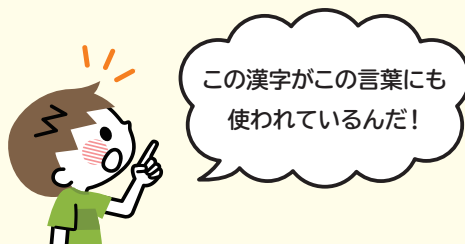
⑤ 同音異字 (3~6年生)

最後からひとつ前のスライド(⑤)では、その学年までに習う同音異字を示しています。子どもは同じ音読みの漢字でよく混乱します。間違った字を使わないように復習を兼ねて意識づけを行いましょう。

3~6年
⑤ 再と同じ音読みをもつ漢字
サイ 災妻採際菜最
祭才細西
サ 査佐差作左

3~6年
⑥ **チャレンジ!**
再をつかった
ことばをさがして
ノートに書いてみよう!

最後のスライド(⑥)は、次の学習ステップ「ことばチャレンジ」への誘導です。覚えただけの漢字がどんな言葉に使われているかを意識することで学習の定着を図れます。どんな言葉に使われているかをノートに書き出してみましょう。答えは次の「ことばチャレンジ」で簡単に調べることができます。



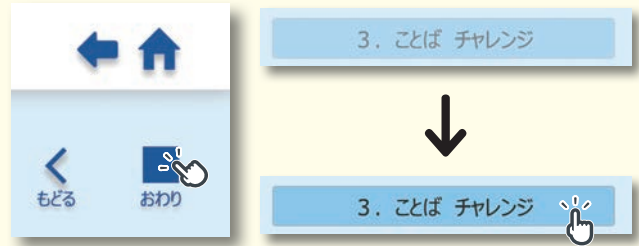
3. ことば チャレンジ

ここが本当の漢字学習！
みんなで楽しくチャレンジしよう



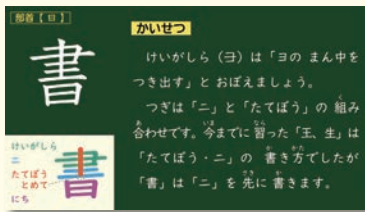
「2. よみかきチェック」の最後のスライドで「おわり」ボタンを押すと、「ことばチャレンジ」のボタンを押せるようになります。

注意！ 最後のスライドでは「おわる」ボタンを押して終了するようにしてください。

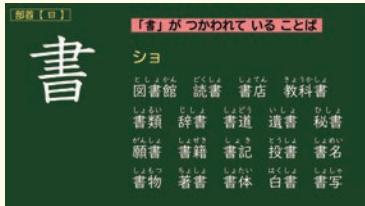


1～2年

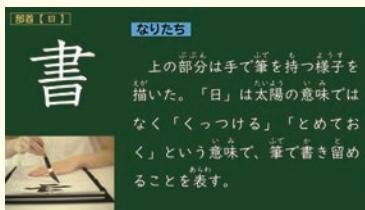
①



②

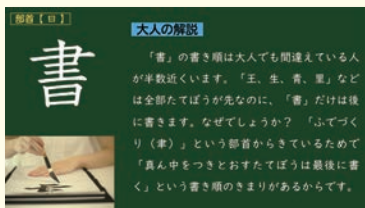


③



1～2年

④



※ 1～3年生のなりたちには意味の理解を助けるための写真を掲載しています。

4～6年生は 2021 年度以降に追加予定。

① かいせつ (1～2年のみ)

前半部分の「かいせつ」は子ども向けです。書けるようになった漢字の理解をさらに深めましょう。分かち書きや同じ学年で習う漢字にはルビを振るなど工夫していますが、読みにくかったり、読むのが苦手な子どもには大人が読みあげるなどのサポートをしてください。

※ 3年生以降の「かいせつ」は 2021 年度に追加予定です。

② ●が使われている言葉

覚えた漢字が使われている言葉を多く示しています。現段階でこれらの言葉を全て理解して書けるようになってほしい、ということでは決してありません。

1～2年生は、示されている語群の中から知っている言葉や聞いたことがある言葉を探してみるだけで十分です。

3年生以降は、これらの言葉の中から知っているものを抜き出してノートに書いてみる、身の回りで見つけた言葉（たとえば商品パッケージや街中の看板、広告など）を集めて書いてみましょう。何度も同じ漢字を書いて練習するより、よっぽど楽しく取り組めるはずです。

中学や高校で習う読み方と言葉も示していますが、無理に覚える必要はありません。参考程度で十分です。

③ なりたち

1～2年生には難しい内容なので飛ばしてOKです。難しい成り立ちの字もありますが、読んでみれば「なるほど!」と思えるものが多くあるので、3年生以降は読んでみましょう。

④ 大人の解説 (1～2年のみ)

先生や保護者が知っている役立つ情報です。大人が読んで勉強してみましょう。大人が学ぶ姿勢や「へえ～、なるほど」という大人のつぶやきが子どもの好奇心を刺激します。

かくにん でテスト対策!

これで漢字テストは怖くありません!



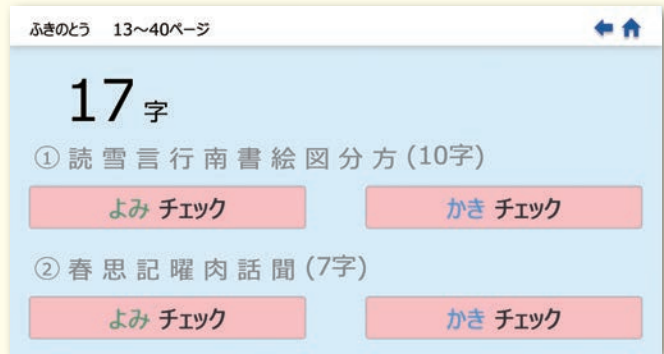
6

書



ここまでの3つの各学習コンテンツをすべて見終わると、カラーバーに黄・赤・青の色がついて花丸が表示されます。すべての漢字で花丸を出せるようにがんばりましょう。

さらに、各単元に含まれる漢字の「おぼえる」コンテンツをすべて見終わると、「かくにん」ボタンを押せるようになります。テスト前など、まとめてチェックしたいときに活用してください。



50音順 で探す

HOME画面から50音順メニューに進むと、各学年で習う漢字が音読みの50音順に並んでいます。

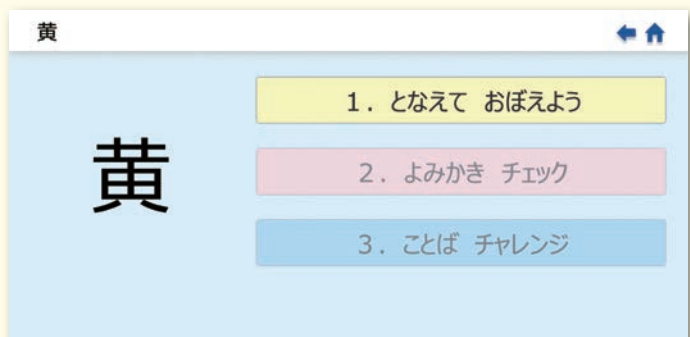
復習や特定の漢字を探して学びたいとき、解説や語例をもう一度読みたいときなどに活用してください。

各漢字のボタンを押すと各漢字の学習選択メニューへ移ります。



未習の漢字はどれかな?

「おぼえる」の1、2、3、すべてを見終わっている漢字はグレーで表示され、未習の漢字は黒字で表示されます。未習の漢字がどれかを探したいときは50音順のメニューから確認しましょう。

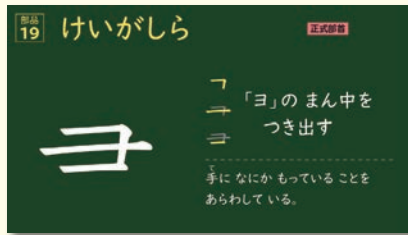


部品 を覚えると後がラク

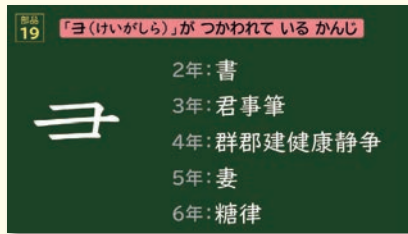
HOME 画面から部品メニューに進むと、各学年で新しく登場する部品が一覧になっています。漢字の「かきかた」で部品が登場したときに確認してください。



①



②



書ける漢字がどんどん増える!

スライドの1枚目は、部品の名前と書き方、簡単な説明を載せています。書き方を確認して、正確に書けるように練習、そして名前を覚えましょう。

スライドの2枚目では、その部品が使われている漢字を載せています。上の学年で習う漢字でも、新しく覚えた部品とこれまでに習った漢字の組み合わせで簡単に書ける字が多くあります。漢字を見て部品に分解できる目が養われてきたら、書いてみるのもよいでしょう。

4年生以降に新しく覚える部品はとても少ない

漢字によく使われている部品のほとんどは3年生までに登場します(※1)。これらの部品と基本漢字の組み合わせで、4年生以降の約80%の漢字は3年生までに習った字の組み合わせです(※2)。中学校の難しい漢字を効率的に覚えるためにも重要な要素ですから、部品の形(書き方)と名前はしっかり覚えるようにしましょう。

※1
部品が登場する学年の一覧表 → P15

※2
裏表紙で4年生以降で覚える量が減ることを視覚化

部品とは何ですか?

ここで示している部品の多くは、一般的に部首と呼ばれるものです。部首とは、膨大な数の漢字を検索しやすくするために、その漢字に使われている主要な部分を索引記号として取り出したものです(辞書によって異なる部首に分類されている字もある)。漢字を構成する部分として多くの漢字によく使われているものを、部首や単漢字も含めて部品と呼んでいます。また、辞書に掲載されていなくてもよく使うかたまりは、ミチムラ式の「独自部品」として区別しています。

一般的な漢字学習では軽視されがちな部品ですが、ミチムラ式漢字学習法ではとても重要視しています。なぜなら、部品は似た形のものが多いので、あいまいに覚えると混乱しやすいからです。さらに、漢字は意味ある部分(部品)が組み

合わさっているので、なりたちや漢字一字がもつ意味を理解することにも大きく関係してきます。これらの部品の名前を覚えると、似た形の部品の違いを言葉で区別できるようになり、混乱していた子どもの頭はすっきり整理されて書き間違えが極端に減ります。部品の名前を覚えることを面倒だと思わずに、積極的に覚えましょう。

しかし、部品の名前はわかりにくいものが多く、日常生活ではほとんど使いません。こうした耳慣れない名前を覚えにくい場合は独自に命名してもOKです。正式な名前で覚えるに越したことはありませんが(辞書や検索で調べたいときのため)、たとえば「すいよう・久」を「夏の下」、「けいがしら・ヨ」を「とび出すヨ」など、本人が覚えやすい名前に変えてもOKです。よく似たややこしい形を言葉で区別できると、かたまりごとに名前をつけて覚えることが重要です。

なんて書いて
あるのかな…



漢字の「読み」と 言葉を増やす意識の重要性

書けることも大切ですが 読めることはもっと大切

「ミチムラ式漢字学習法」は部品の組み合わせで漢字の書き学習をラクにクリアできるのが特徴ですが、「漢字を読めるようになる」こともとても大切にしています。

なぜなら、3年生までは訓読みを先に習う字が多く、後で習う音読みがなかなか定着しない現実があるからです。とくに4年生以降になると音読みしかない漢字が増え、音読み熟語（漢語）が急激に増えます。しかも音読みは力行とサ行に集中しているため、子どもの混乱を招きやすいです。高学年になると理科や社会の教科書も漢語ばかり、音読みをマスターしていないと教科書すら読めないといった状況が生まれてしまうのです。

漢字学習を通して 言葉の世界を広げる

そうした状況にならないように、ミチムラ式漢字学習法では音読み言葉とセットで「よみ」（漢字のタイトルと呼んでいます）を提示しています。音読みと訓読みがセットになった漢字のタイトルを言えるようになると、熟語を見たときに音読みが頭に浮かんで即座に読めるようになります。教科書が楽に読めるようになるだけでなく、読書にも役立ちます。

右のページは小中9年間の漢字学習を通して、各学年で取り組んでほしいポイントを明示した漢字成長図です。とくに3～4年生あ

たりでぶつかる「漢語の壁」は大敵です。単調な書き学習で漢字嫌いになる子どもが現れるのも3～4年生あたりです。漢字嫌いにさせないように、部品の組み合わせで書き学習は効率的にクリア、言葉の世界を広げることに重点を置いて学習を進めましょう。

漢字のタイトルは 厳選された言葉です

漢字のタイトルは、日本語の単語親密度データの上位から同音異義語のある言葉を外したものを厳選しています。つまり、ほとんどの日本人が知っていて、漢字を特定できる言葉です。低学年には理解が難しい言葉もあるでしょうが、大人が使う言葉を学び始める高学年の段階では読めて、知っていてほしい言葉です。教科書や授業では低学年の漢字の音読みを丁寧に扱っていないので、低学年のうちから音読みの言葉を意識してください。

興味・関心を引き出す 「学びのサイクル」

言葉への「興味・関心」は「ことばチャレンジ」の語群から知っている言葉を探したり、覚えた言葉を身の回りで見つけられた喜びから引き出されます。低学年のうちからこのような「学びのサイクル」を身につけておくと、3年生以上の様々な学習で効果を発揮します。

もちろん高学年からでも遅くありません。漢字を書くことにこだわりすぎず、子どもの興味・関心を引き出す学習を心がけましょう。

日常生活

受験

読む力・
使い方を
知る

大人
社会の
ことば

組み合わせで
簡単に書ける

読み

漢語さがし

漢語の壁

部品

基本漢字

カタカナ

ひらがな

中学

読み → 語彙を増やす

書けるより
認識・選択
する力

音や形 → 意味を推測 → 使い分け

大人の漢語世界
への準備

6年

漢語での情報入手・処理能力
話し言葉から書き言葉へ

漢字を分解
合成する視点

5年

書けることへの自信

1～3年の音読みを意識的に復習

4年

漢字嫌いに
させない

読書

漢語理解への意識

3年

音読みをセットで覚える

部品つながり

な
り
た
ち

基本漢字

+ 部品 +

カタカナ

ス
ト
ー
リー

まわりの
ことば

組み合わせを楽しむ

2年

楽しい!
おもしろい!

言葉を見つけた!

1年

かたりかけ・読みきかせ
(言葉・おはなしへの興味)

基本の書き方
線の運び

読みきかせ・絵本

～ ミチムラ式漢字学習法が目指すもの ～

「ミチムラ式」は小学1年から中学校までの義務経教育9年間を見通した漢字学習法です。各学年の漢字をどのように学んでいけば先につながり、すべての学習の基礎となる「読み書き」の力をいかに効率的に培えるかをとことん考えています。

これまで提供してきた「ミチムラ式漢字カード」は漢字一字をラクに簡単に覚えるためのものです。しかし、漢字学習を単純な覚え学習で終わらせるのではなく、背景にある「漢字の面白さ・楽しさ・奥深さ」に触れながら学習を進めることはとても大事なことです。特に低学年の段階から漢字の本質に迫る取り組みを織り交ぜて指導すると、子どもたちは「知る喜び、学ぶ楽しさ」を味わうきっかけをつかみます。そして、その先の学習に自ら率先して取り組むようになります。

高学年では「漢字を使える、語彙を増やす」ことが必須の課題になります。そのためには

漢字一字が持つ意味を知ったり、音読みを習得したりするなど、低学年から意識的に学習をつなげて、漢字への興味を持続させながら取り組むことが大事です。

2020年から提供を開始するミチムラ式漢字学習法の「オンライン学習システム」は、これらの漢字学習の流れを全て見通して製作しています。どの学年のどの漢字から学習を始めても、漢字そのものの面白さ、楽しさ、奥深さに触れられて、漢字学習が本来あるべき目指す学習に興味を示しながら、自然と「漢字の力」を得ていくでしょう。

「楽しみながら学習する」ことは、「学び」の基本です。さあ、新しい漢字学習の第一歩を踏み出しましょう。

かんじクラウド（株）
会長 道村静江



ミチムラ式漢字学習法『オンライン学習システム』の参考資料

「常用漢字表」 2010年（H22）11月30日 内閣告示

「学年別漢字配当表」 2020年（R2）4月1日 文部科学省

「音訓の小・中・高等学校段階別割り振り表」 2017年（H29）3月 文部科学省

「小学校学習指導要領・国語編」 2017年（H29）7月 文部科学省

「常用漢字表の字体・字形に関する指針」 2016年（H28）2月29日 文化庁

「2020年度版 小学校国語教科書」（光村図書・東京書籍・教育出版）

「新しい国語表記ハンドブック」 三省堂

「例解学習漢字辞典」 小学館

「藤堂方式・小学生の漢字はかせ」 學燈社

「パズルで特訓！〇年生の漢字」 くもん出版

「漢字の読み方」（武部良明） 角川書店

「平成版 単語親密度データベース」（NTT データベースシリーズ「日本語の語彙特性」） 三省堂

「詳細読み策定支援環境ソフト」（元国立特殊教育総合研究所 渡辺哲也・山口俊光）

「視覚障害者の漢字学習」（1～6年・中学校冊子＋常用漢字総索引集） 点字学習を支援する会

部品が登場する学年の一覧表 ~2020年版~

	基本漢字		初出部品		カタカナ
	その学年で登場する字	部品の一部として登場する●の学年の単漢字	部首 ()は常用漢字外	ミチムラ式 独自部品	()変形カタカナ []ひらがな
1年 50字 80字	一 二 三 五 七 八 九 十 月 火 水 木 土 日 山 川 田 上 下 大 中 小 目 耳 手 女 子 人 入 年 文 正 王 立 竹 虫 雨 赤	③ 丁 ⑥ 寸	へ 儿 一 冂 口 凵 么 气	主 乚	イ(イ)ウ(ウ)エ カケサ(サ)ソ(ソ) タツ(ツ)トナノ ハヒ(ヒ)フムメ ル(ル)ロワ(ワ) [<]
	38	2	8	2	21
2年 74字 160字	言 止 心 父 母 米 食 刀 戸 午 牛 馬 鳥 羽 角 毛 弓 矢 北 西 方 長 半 行 門 用 里	③ 豆 由 予 ④ 欠 氏 周 未 良 ⑤ 士 可 ⑥ 己 至 ㊦ 又 巾 斤 斗 舟 且 占	厂 广 辶 夕 彳 禾 艹 田 艸 彡 夂 冫 彳 頁 佳 母 豕 卩 冫 (也 勿 巴 乍 袁)	开 丷 羊 ㄣ	ア オ ク コ シ(シ)セ ネ(ネ)ホ マ ヨ ラ リ レ ン
	27	19	24	4	14
3年 63字 200字	央 曲 祭 皿 重 申 身 世 皮 平 面 羊	④ 求 束 失 ⑤ 非 永 示 比 ⑥ 千 尺 ㊦ 垂 介 及 呂 吏 与 是	扌 牛 食 夕 冫 冫 冫 弋 戈 冫 艮 聿 爻 冫 尸 疒 冫 冫 氷 冫 羊 酉 辰 (廿 其)	冫 目 依 以 艹 艹 艹 艹 冫 莫	ユ
	12	16	25	10	1
4年 24字 202字	以 衣 果 司 臣 井 单 飛 必 不	⑤ 支 ⑥ 我 亡 ㊦ 牙 白	ネ 夕 西 (世)	彳 夂 冊 目 宀	ヌ
	10	5	4	5	1
5年 17字 193字	久 再 史 脈	⑥ 片 ㊦ 矛	小 彳 彳 耒 几 巳 ㄩ 章	冫 冉 局	37
	4	2	8	3	
6年 12字 191字	骨 冊 垂 革	㊦ 吳 齊	疋 尤 疒 (亥 甫)	业	
	4	2	5	1	
中学 28字 1110字	乙 甘 缶 瓦 巨 甲 丈 爪		彳 小 爻 死 舛 豸 彳 (之 乃 丑 瓜 而 此)	丷 尤 彳 丰 电 彳 彳	
	8	0	13	7	
合計	103	46	87	32	12.5%

カタカナ、基本漢字、部品(全体の12.5%
わずか1/8)を覚えれば
全常用漢字(2136
字)が簡単に書ける。

$$103 + 46 + 87 + 32 \text{ 字} = 2136 \text{ 字}$$

268字 / 2136字

12.5%

ミチムラ式で取り組めば 書けるように練習するのは

たったこれだけ

書いて覚える字は

23.5%

中学はたったの

2.5%

組み合わせ方を 唱えて覚えたら
あっという間に 書ける

1年

80字

↓

50字

一 二 三 五 七 八 九 十 月 雨 六 四 青 花 貝 学 休 玉 空 犬
火 水 木 土 日 山 川 田 上 赤 金 出 足 見 口 校 左 字 車 森
下 大 中 小 目 耳 手 女 子 町 先 糸 右 生 夕 石 千 早 草 男
人 入 年 文 正 王 立 竹 虫 村 円 気 音 天 白 百 本 名 力 林

2年

160字

↓

73(75)字

言 止 心 父 母 米 食 黄 野 歌 紙 友 夏 後 秋 光 買 作 考 引 雲 園 画 回 会 海 絵 外 楽 活 間 丸 岩 汽 帰 魚 京 強 兄 計
刀 戸 午 牛 馬 鳥 羽 週 妹 何 壳 原 教 点 数 前 形 遠 元 古 語 工 公 交 高 合 谷 国 黒 今 才 細 姉 思 寺 自 時 社 弱 首
角 毛 弓 矢 北 西 方 記 室 科 市 広 顔 曜 毎 家 算 南 春 少 新 親 凶 声 星 晴 切 雪 線 走 多 太 体 台 池 知 茶 昼 朝 通
長 半 行 門 用 里 頭 近 船 組 店 道 書 番 地 場 色 直 弟 電 冬 当 東 答 同 読 内 肉 麦 風 分 聞 歩 万 明 鳴 夜 来 理 話

3年

200字

↓

62(64)字

央 曲 面 泳 階 写 列 次 院 部 式 感 勝 委 意 育 員 運 横 温 化 荷 開 館 起 客 究 急 去 橋 業 局 銀 苦 具 君 係 軽 血 決
祭 皿 羊 悲 岸 題 命 根 筆 役 礼 屋 漢 研 鼎 庫 湖 向 幸 港 号 仕 死 始 指 齒 詩 事 持 実 者 主 守 取 受 州 拾 終 習 集
重 申 球 駅 悪 打 病 発 区 緑 庭 着 安 住 宿 所 暑 助 昭 消 章 乘 植 神 真 深 進 全 相 送 想 息 速 族 他 对 待 代 第 炭
身 世 整 界 級 物 酒 農 度 期 表 薬 暗 短 談 注 柱 丁 帳 調 定 笛 転 都 投 豆 島 湯 登 等 動 童 波 配 倍 箱 畑 反 坂 板
皮 平 鉄 宮 使 飲 商 服 勉 追 昔 寒 医 美 鼻 水 秒 品 負 福 返 放 味 問 由 油 有 遊 予 洋 葉 陽 様 流 落 旅 両 練 路 和

4年

202字

↓

25字

以 衣 岐 議 望 愛 案 位 茨 印 英 栄 媛 塩 岡 億 加 貨 課 賀 改 械 害 街 各 覚 完 官 管 関 観 願 希 季 旗 器 機 求 泣 給
果 司 芽 兵 鴻 拳 漁 共 協 鏡 競 極 熊 訓 軍 郡 群 径 景 芸 欠 結 建 健 固 功 好 香 候 康 佐 差 菜 最 埼 材 崎 咋 札 刷
臣 井 包 初 票 察 参 産 散 残 氏 試 児 治 滋 辞 失 借 種 周 祝 順 松 笑 唱 焼 照 城 縄 信 成 省 清 静 席 積 折 説 戦 選
単 飛 帶 輪 節 然 争 倉 巢 束 側 続 卒 孫 隊 達 置 仲 冲 兆 低 底 的 典 伝 徒 努 灯 働 特 德 栃 奈 梨 熱 念 敗 梅 博 阪 飯
必 不 浅 鹿 験 標 夫 付 府 阜 富 副 別 辺 変 便 法 牧 末 満 未 民 無 約 勇 要 養 浴 利 陸 良 料 量 類 令 冷 例 連 老 労 録

5年

193字

↓

17字

久 務 航 構 因 永 営 易 益 液 演 応 往 桜 可 仮 価 河 過 快 解 格 確 額 刊 幹 慣 眼 紀 基 寄 規 喜 技 義 逆 旧 救 居
再 犯 災 過 許 境 均 禁 句 型 経 潔 件 険 検 限 現 減 故 個 護 効 厚 鉦 興 講 告 混 查 妻 採 際 在 財 罪 殺 雜 酸 賛
史 状 性 圧 士 支 志 枝 師 資 飼 示 似 識 質 舍 謝 授 修 述 術 準 序 招 証 象 賞 条 常 情 織 職 制 政 勢 精 製 税 責
脈 独 耕 困 績 接 設 絶 祖 素 総 造 像 増 則 測 属 率 損 貸 態 団 断 築 貯 張 停 提 程 適 統 堂 銅 導 得 毒 任 燃 能
版 衛 留 移 破 判 比 肥 非 費 備 評 貧 布 婦 武 復 復 仏 粉 編 弁 保 墓 報 豊 防 貿 暴 夢 迷 綿 輪 余 容 略 領 歴

6年

191字

↓

11字

骨 就 並 胃 異 遺 域 宇 映 延 沿 恩 我 灰 拈 革 閣 割 株 干 卷 看 簡 危 机 揮 貴 疑 吸 供 胸 郷 勤 筋 系 敬 警 激 穴
冊 疑 券 絹 権 憲 源 巖 己 呼 后 孝 皇 紅 降 鋼 穀 困 砂 座 裁 策 蚕 至 私 姿 視 詞 誌 磁 射 捨 尺 若 樹 収 宗 衆 従
垂 劇 縦 縮 熟 純 処 署 諸 除 承 将 傷 障 蒸 針 仁 推 寸 盛 聖 誠 舌 宣 専 泉 洗 染 銭 善 奏 窓 創 装 層 操 蔵 臈 存
誤 刻 尊 退 宅 担 探 誕 段 暖 值 宙 忠 著 庁 頂 腸 潮 賃 痛 敵 展 討 党 糖 届 難 乳 認 納 脳 派 拝 背 肺 俳 班 晚 否
濟 補 批 秘 俵 腹 奮 陞 閉 片 暮 宝 訪 亡 忘 棒 枚 幕 密 盟 模 訳 郵 優 預 幼 欲 翌 乱 卵 覧 裏 律 臨 朗 論

4年生以降の漢字学習が **とてもラクに** なります

ミチムラ式漢字学習法オンライン学習システム

編集：かんじクラウド株式会社

音声：松村圭人

製作・販売：株式会社空間概念研究所

ご利用の手引き 2020年9月発行

ミチムラ式漢字学習法オンライン学習システムに関するお問い合わせ

株式会社空間概念研究所

東京都新宿区西早稲田 1-22-3 早稲田大学インキュベーションセンター内 11-5

電話番号：03-6233-8072

メールアドレス：info@space-c.com